

令和4年7月15日

学生諸君および保護者の皆様

遠隔授業の実施について（本科1年生）

教務主事

7月18日（月）～22日（金）は遠隔授業を実施します。**遠隔授業は、対面授業（通常の教室内での授業）の代わりとして実施**します。

新型コロナウイルス感染症の収束については、明確な予想ができない状況です。このような中で、遠隔授業を行うことになり、学生および保護者の皆さまには、大変ご負担をおかけしますが、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 通信環境

やむを得ず通信環境が整わないと判断された場合、無線WiFiルータ（20Gbyte/月）の貸し出しを行いますので、**通信環境が圧迫されるような事態が生じた場合（あるいは予想される場合）、担任に相談**してください。

また、やむを得ず通信環境が整わないと判断された通学生や、やむを得ず学寮に滞在せざるを得ないと判断された寮生は、校内ネットワークを利用した学校施設での受講を許可しますので、**事前に担任に相談**してください。

2. 遠隔授業とは

遠隔授業には大きく分けて、以下の2種類があります。

- **オンデマンド型（教材提供型）**

Moodleなどの学習管理システム（LMS: Learning Management System）にあらかじめ用意された授業コンテンツ（動画や講義資料などの教材）に取り組む方法です。設定された期間、いつでも授業コンテンツを見ることができます。また、メール、チャットなどを通じて質問をし、インターネットを介して課題提出などを行います。通信量は比較的、少なくてすみます。

- **同時双方向型（テレビ会議方式）**

Microsoft Teamsなどのテレビ会議システムを用い、インターネットを介して生中継で授業の映像や音声を聴講する方法です。学生と教員の間での会話や質問も可能です。ただし、長時間、映像を含む状態で聴講すると、通信量は多くなります。

3. 本校での遠隔授業の形式

本校では、

- **各科目の遠隔授業**：Moodle を利用したオンデマンド型
- **朝の SHR および本科 1～3 年の HR**：Microsoft Teams を利用した同時双方向型

により実施します。

各科目の遠隔授業は、スマートフォンでも受講可能な授業コンテンツを提供します。

事前に、以下の 2 点を必ず確認してください。

- Moodle
<https://moodle2.maizuru-ct.ac.jp/>
にログインできることを確認してください。
- Microsoft365
<https://www.office.com/>
にサインインし、Microsoft Teams が利用できることを確認してください。事前に各クラスで担任・コース長の先生が皆さんと Microsoft Teams の動作確認を行います。

4. 遠隔授業を受講するうえでの注意

遠隔授業で提供する授業コンテンツの YouTube や SNS などへのアップロードを禁止します。

オンデマンド型の遠隔授業では、学生の皆さんに動画や講義資料といった授業コンテンツを Moodle 上で提供します。また、学生の利便性を目的として、授業コンテンツはダウンロードが可能となっています。しかし、著作権保護の観点からダウンロードした授業コンテンツの加工や YouTube や SNS などにアップロードする行為を禁止します。

会議システムでの録画・撮影と YouTube や SNS などへのアップロードを禁止します。

ショートホームルームは、Microsoft Teams を利用したテレビ会議方式とします。そこでの様子を録画や撮影する行為を禁止します。これらを YouTube や SNS などにアップロードする行為も禁止です。

5. 具体的な遠隔授業の方法

本校では、以下の方針で遠隔授業を進めます。

- (1) 本校ホームページに掲載する**時間割表にしたがって、遠隔授業を行います。**
- (2) **毎朝の授業開始前（午前 8 時 40 分）に、原則、すべてのクラス（専攻科を含む）で会議システム Microsoft Teams を利用した短時間のショートホームルーム（SHR）を実施します。**参加が困難な場合は、担任に連絡してください。

- (3) 本校ホームページに掲載する**時間割表の科目をクリック（タップ）**すると、各科目の **Moodle のコースのホームページ**に進みます。そこに掲載されている授業コンテンツ（授業映像、音声付パワーポイント資料、PDF ファイルなど）を順番に実施します。
- (4) 授業に関する質問は、**メール**および **Moodle や Microsoft Teams のチャット機能**などで受け付けます。
- (5) 課題に回答し、提出します（インターネットでの提出が難しい場合、後日、手書きを含む紙媒体での提出も可能です）。

以下に、(1)～(5)の詳細な説明を行います。

(1) 本校ホームページに掲載する時間割表にしたがった遠隔授業

本校ホームページ「遠隔授業の特設ページ」に各クラス的时间割表が PDF ファイルで置かれますので、**時間割通りに学習を進めてください。**

- 本科1・2年生はクラス・学科ごとの時間割表になっています。

例：1年1組（機械工学科）の時間割

1-1 (1M)

	月	火	水	木	金
08:50-09:35 1	古典A	化学ⅠA	歴史総合A	設計製図Ⅰ	芸術A
09:35-10:15 2					
10:25-11:10 3	保健体育Ⅰ	現代文A	総合英語ⅠA	総合英語ⅠA	物理ⅠA
11:10-11:50 4					
13:10-13:55 5	基礎数学演習	基礎数学A	情報処理Ⅰ	基礎数学A	入門機械実習
13:55-14:35 6	A				(リモート無)
14:40-15:25 7	HR	総合演習	保健体育Ⅰ	Oral English	専門AL
15:25-16:05 8	—	(リモート無)	(女子)		(リモート無)

- 本科3年以上は学科・コースごとの時間割表になっています。
- 時間割 (PDF ファイル) の「**科目名**」をクリック (タップ) すると、その科目の **Moodle のコース**に進みます。

(2) 毎朝の授業開始前（8時40分）のショートホームルームと1~3年のホームルーム

事前に、各クラスで担任・コース長の先生が皆さんと **Microsoft Teams** の動作確認を行います。そのときと手順は同じです。

Microsoft365 にサインインし、**Microsoft Teams** のアプリや Web ページでチーム内の各クラスのチャンネルに入ってください。

<p>チーム名：[026]舞鶴高専授業 2022 (本科低学年)</p> <p>チャンネル：1年</p> <p>1年1組</p> <p>1年2組</p> <p>1年3組</p> <p>1年4組</p> <p>1年機械工学科</p> <p>1年建設システム工学科</p> <p>1年電気情報工学科</p> <p>1年電子制御工学科</p> <p>2年</p> <p>2年1組</p> <p>2年2組</p> <p>2年3組</p> <p>2年4組</p> <p>2年機械工学科</p> <p>2年建設システム工学科</p> <p>2年電気情報工学科</p> <p>2年電子制御工学科</p>	<p>チーム名：[026]舞鶴高専授業 2022 (本科高学年)</p> <p>チャンネル：3年</p> <p>3年機械工学科</p> <p>3年建設システム工学科</p> <p>3年電気情報工学科</p> <p>3年電子制御工学科</p> <p>4年</p> <p>4年機械工学科</p> <p>4年建設システム工学科</p> <p>4年電気情報工学科</p> <p>4年電子制御工学科</p> <p>5年</p> <p>5年機械工学科</p> <p>5年建設システム工学科</p> <p>5年電気情報工学科</p> <p>5年電子制御工学科</p>
<p>チーム名：[026]舞鶴高専授業 2022 (専攻科)</p> <p>チャンネル：1年</p> <p>1年機械制御システム工学コース</p> <p>1年建設工学コース</p> <p>1年電気電子システム工学コース</p> <p>2年</p> <p>2年機械制御システム工学コース</p> <p>2年建設工学コース</p> <p>2年電気電子システム工学コース</p>	

- 「自分の音声」は必要なとき以外は OFF にしてください。
- 「自分の映像」は OFF にしてください (ON にすると受信者全員の通信量が増大してしまいます)。

(3) 遠隔授業の進め方

時間割 (PDF ファイル) の「科目名」をクリック (タップ) すると、その科目の Moodle のコースに進みます。時間割の時間帯に受講するように心がけてください。

数値計算法【2021年度前期・4S】

Home / マイコース / 2021 (令和3) 年度 / 電子制御工学科 / 4年 / 4S_numerical_calculation_2021

アナウンスメント

あなたの進捗

科目情報

第3回：2021年04月27日（火）

2.3 テイラー展開による1次近似とニュートン法

PDF ファイル



2.4 ニュートン法の特徴

PDF ファイル (前半)



PDF ファイル (後半)



2.5 テイラー展開による2次近似とバイリー法

PDF ファイル (前半)



PDF ファイル (後半)



各科目の **Moodle** のコースには、各回の授業コンテンツが掲載されていますので、順番に進んでいってください。映像や資料を見るだけでなく、ノートにまとめる作業も進めてください。

(4) 授業の質問

授業の質問を適宜、受け付けます。メールや Moodle や Microsoft Teams のチャット機能などを利用してください。メールは随時、受け付けています。チャット機能については、各科目によって対応が異なりますので、Moodle での指示にしたがってください。

(5) 課題の提出

可能であれば、手書きのレポートを写真撮影し、Moodle あるいはメールに添付して提出することが求められる場合があります。この場合、スマートフォン上で動作するアプリ **Dropbox**

<https://www.dropbox.com/ja/features/productivity/doc-scanner-app/scan-pdfs>

…… **Dropbox plus へのアップグレードは不要です！**

を利用すると、比較的、簡単に手書きのレポートをスマホで撮影したのち PDF ファイルに変換し、提出することができます。Dropbox の解説動画を Moodle のコース「PDF ファイル提出の練習」

<https://moodle2.maizuru-ct.ac.jp/moodle/course/view.php?id=546>

に公開していますので、お試してください（事前にこのコースで提出の練習ができます）。

Moodle やメールでの提出が難しい場合、後日、手書きを含む紙媒体での提出も可能ですので、担任の先生や科目担当の先生に相談してください。

以上